

交通死亡事故多発警報発令に伴い、 三重県津市で高齢者向け交通安全啓発活動を実施 ～ 夜間外出時の反射材着用等を推進 ～

日本損害保険協会中部支部三重損保会（会長：藤山 高志 三井住友海上火災保険株式会社 三重支店長）では、三重県警察と連携し、10月6日（月）に極楽湯津店およびマックスバリュ津東店において、高齢者向け交通安全啓発活動を実施しました。

三重県では、交通死亡事故多発により、9月2日から30日まで交通死亡事故多発警報が発令されていましたが、同期間中に3件の交通死亡事故が発生したため、発令期間が10月10日まで延長されました。また、交通事故死者のうち、高齢者が約7割を占めています。

こうした状況を踏まえ、発令延長期間である10月6日（月）に高齢者が多く利用する極楽湯津店およびマックスバリュ津東店において、三重県警察等と連携し、夜間外出時の反射材着用や運転時の早めのライト点灯を呼びかけました。また高齢者の靴に反射材を貼付する取組みも実施し、高齢者からは、「反射材をつけてもらってよかった。暗い時間に外出するときはこの靴を履きたい。」といった声もありました。

当支部では、今後も三重県警察ほか関係機関と連携し、交通事故防止活動を行ってまいります。



靴に反射材を貼付



夜間外出時の反射材着用を呼びかけ